



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 日本金属株式会社
コード番号 5491 URL <https://www.nipponkinzoku.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 下川 康志
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務部長 (氏名) 丸山 尚之 TEL 03-5765-8105
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	39,321	8.2	1,065	24.6	1,013	19.6	626	△74.0
2022年3月期第3四半期	36,337	26.5	855	—	846	—	2,407	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,049百万円 (△54.4%) 2022年3月期第3四半期 2,302百万円 (931.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	93.63	—
2022年3月期第3四半期	359.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	72,666	24,363	33.5	3,639.40
2022年3月期	72,179	23,314	32.3	3,482.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 24,363百万円 2022年3月期 23,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	12.0	1,300	△9.6	1,300	△2.8	700	△72.2	104.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	6,700,000株	2022年3月期	6,700,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,678株	2022年3月期	5,654株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	6,694,329株	2022年3月期3Q	6,694,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国のマクロ経済政策により先進国を中心に経済活動の正常化が進み、わが国におきましても緩やかな回復基調が継続しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や、中国でのゼロコロナ政策によるロックダウンの影響を受けたグローバルサプライチェーンの混乱などに伴い、原材料・エネルギー・物流などの価格が高騰しており、それらを背景に多くの国でインフレが進行し、さらにはその抑制のため、これまでの金融緩和から金融引き締めへの政策転換が図られるなど、先行きはより一層不透明な状況になっております。

ステンレス業界におきましても、半導体などの部品供給不足による自動車生産台数の低迷や、原材料、副資材、エネルギー、物流などの諸コスト上昇により、厳しい事業環境が継続しています。

このような状況の中、当社グループは、2019年11月火災発生した当社板橋工場第三圧延工場の新設備の稼働を2022年3月末より開始させ、冷間圧延ステンレス鋼帯の生産コスト低減に取り組むとともに、引き続き原材料などの諸コスト上昇を反映させた販売価格の是正、生産性向上、品質改善などの全社的な収益改善活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2,984百万円(8.2%)増収の39,321百万円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比210百万円(24.6%)増益の1,065百万円、経常利益は前年同期比166百万円(19.6%)増益の1,013百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に特別利益として受取保険金2,448百万円を計上していたことから、前年同期比1,780百万円(74.0%)減益の626百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① みがき帯鋼事業

みがき帯鋼事業におきましては、注射針向けステンレス冷延鋼帯製品、カッター刃向けみがき特殊帯鋼製品などの受注は増加しましたが、自動車生産台数の低迷により外装モール材をはじめとする自動車関連用途での受注減少の影響が大きく、販売数量としては前年同期を下回る状況となりました。しかしながら、原材料価格等の製造コスト上昇に対する販売価格の是正に努めました結果、当第3四半期連結累計期間のみがき帯鋼事業の売上高は、前年同期比2,949百万円(10.4%)増収の31,304百万円、営業利益は前年同期比233百万円(27.5%)増益の1,082百万円となりました。

② 加工品事業

加工品事業におきましても、自動車関連用途での大幅な受注減がありました。福島工場取扱製品では国内の食品設備や一般リフォーム向け建築関連製品の受注が増加し、岐阜工場取扱製品では飲料機器関連製品や文具関連製品の受注が回復したことや、みがき帯鋼事業と同様に販売価格の是正を進めました結果、当第3四半期連結累計期間の加工品事業の売上高は、前年同期比34百万円(0.4%)増収の8,017百万円、営業利益は前年同期比23百万円(2.9%)増益の825百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ487百万円増加の72,666百万円となりました。

流動資産は、341百万円増加の36,922百万円となりました。これは主に、当連結会計期間末が金融機関の休日だったことによる影響等により、現金及び預金が3,790百万円減少したものの、受取手形及び売掛金と電子記録債権との合計額が256百万円、棚卸資産が合計で3,909百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、145百万円増加の35,744百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金資産が163百万円減少したものの、有形固定資産が172百万円、投資有価証券が165百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ562百万円減少の48,303百万円となりました。

流動負債は、2,702百万円増加の34,480百万円となりました。これは主に、賞与引当金が226百万円、その他に含まれる設備支払手形及び設備電子記録債務との合計額が2,135百万円、未払法人税等が559百万円、未払金が443百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が4,678百万円、支払手形及び買掛金と電子記録債務との合計額が1,402百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、3,264百万円減少の13,822百万円となりました。これは主に、長期借入金が3,357百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、1,049百万円増加の24,363百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が609百万円、為替換算調整勘定が294百万円、その他有価証券評価差額金が120百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の32.3%から1.2ポイント上昇し、33.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年10月31日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」でお知らせしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,134	6,343
受取手形及び売掛金	9,102	9,720
電子記録債権	5,123	4,761
商品及び製品	5,153	8,008
仕掛品	4,936	5,568
原材料及び貯蔵品	1,531	1,955
その他	601	566
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	36,580	36,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,956	3,993
機械装置及び運搬具（純額）	11,113	10,711
土地	16,245	16,231
その他（純額）	977	1,528
有形固定資産合計	32,292	32,464
無形固定資産	152	124
投資その他の資産		
投資有価証券	2,120	2,285
その他	1,068	904
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	3,153	3,154
固定資産合計	35,598	35,744
資産合計	72,179	72,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,323	11,274
電子記録債務	1,080	4,532
短期借入金	10,922	15,600
賞与引当金	337	110
製品保証引当金	46	73
環境対策引当金	37	-
その他	6,030	2,889
流動負債合計	31,778	34,480
固定負債		
長期借入金	11,520	8,162
再評価に係る繰延税金負債	3,041	3,041
退職給付に係る負債	2,237	2,344
環境対策引当金	21	48
その他	266	225
固定負債合計	17,087	13,822
負債合計	48,865	48,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	8,465	9,074
自己株式	△10	△10
株主資本合計	16,298	16,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	804	925
土地再評価差額金	6,059	6,077
為替換算調整勘定	163	458
退職給付に係る調整累計額	△12	△5
その他の包括利益累計額合計	7,015	7,455
純資産合計	23,314	24,363
負債純資産合計	72,179	72,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	36,337	39,321
売上原価	31,690	34,388
売上総利益	4,647	4,933
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	934	856
役員報酬及び給料手当	1,666	1,813
賞与引当金繰入額	29	30
退職給付費用	113	103
減価償却費	183	148
その他	864	915
販売費及び一般管理費合計	3,791	3,867
営業利益	855	1,065
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	51	69
受取賃貸料	28	28
為替差益	1	-
スクラップ売却収入	33	35
その他	39	33
営業外収益合計	157	169
営業外費用		
支払利息	104	126
為替差損	-	73
減価償却費	41	-
その他	20	22
営業外費用合計	166	222
経常利益	846	1,013
特別利益		
固定資産売却益	3	4
受取保険金	2,448	-
特別利益合計	2,452	4
特別損失		
固定資産除却損	30	31
投資有価証券評価損	-	16
特別損失合計	30	47
税金等調整前四半期純利益	3,268	969
法人税、住民税及び事業税	549	217
法人税等調整額	312	125
法人税等合計	861	343
四半期純利益	2,407	626
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,407	626

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,407	626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	120
為替換算調整勘定	△59	294
退職給付に係る調整額	26	6
その他の包括利益合計	△104	422
四半期包括利益	2,302	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,302	1,049
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。